

アンケート調査結果報告書
(ダイジェスト版)

平成 26 年 9 月
赤穂市

I. 調査の概要

1 回収状況

・調査年度	平成 26 年度	平成 25 年度
・調査名	介護保険・保健福祉に関するアンケート調査	二次予防事業対象者把握調査及び日常生活圏域二一ズ調査
・調査対象	65 歳以上の方で要支援 1 から要介護 2 までの認定者 500 人（無作為抽出）	65 歳以上の一般高齢者 2,500 人（無作為抽出）
・調査期間	平成 26 年 7 月 1 8 日 ～ 7 月 3 1 日	平成 26 年 1 月 1 4 日 ～ 1 月 2 9 日
・調査方法	郵送配布・郵送回収	郵送配布・郵送回収
・回収結果	325 件（回収率：65.0%）	2,105 件（回収率：84.2%）

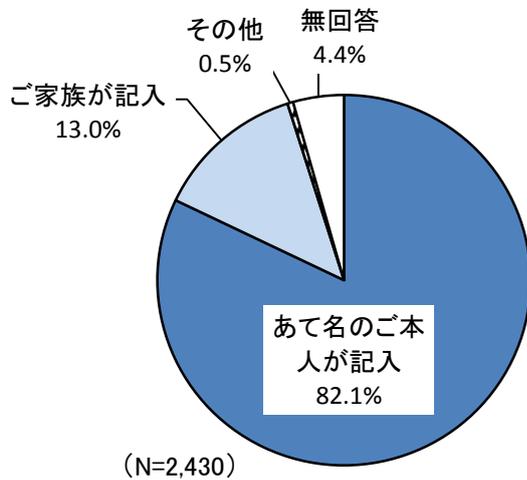
2 報告書の見方

- 回答結果の割合「%」は有効サンプル数に対して、それぞれの回答数の割合を小数点以下第 2 位で四捨五入したものです。そのため、単数回答であっても合計値が 100.0% にならない場合があります。
- 複数回答の設問の場合、回答は選択肢ごとの有効回答数に対して、それぞれの割合を示しています。そのため、合計が 100.0% を超える場合があります。
- 図表中において、「無回答」とあるものは、回答が示されていない、または回答の判別が著しく困難なものです。
- 図表等の「N 数（number of case）」は、有効標本数（集計対象者総数）を表しています。
- 属性の一部と、問 8 Q 1 3 については、平成 26 年度の調査のみにある設問です。

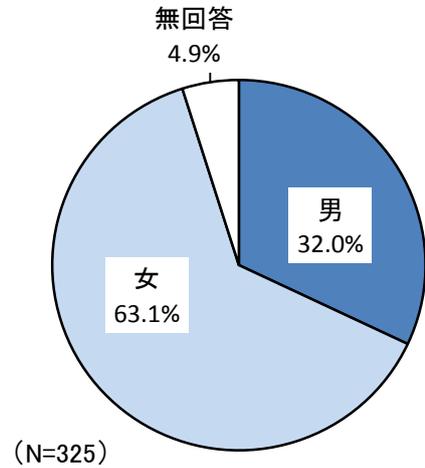
Ⅱ. 調査結果

属性

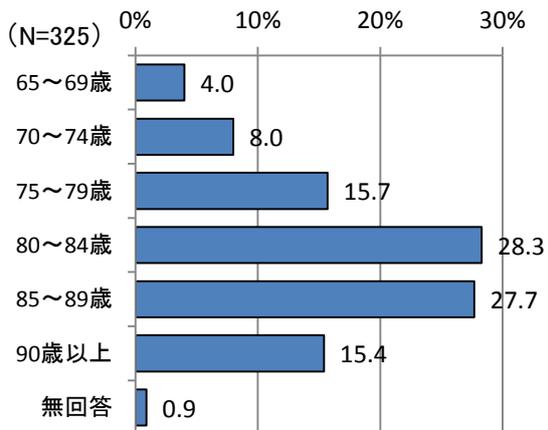
(1) 記入者



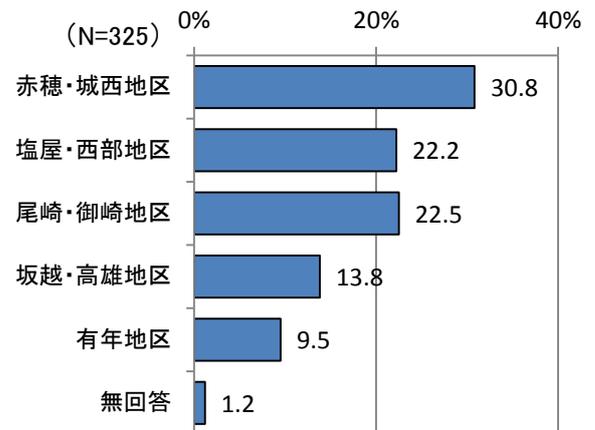
(2) 性別



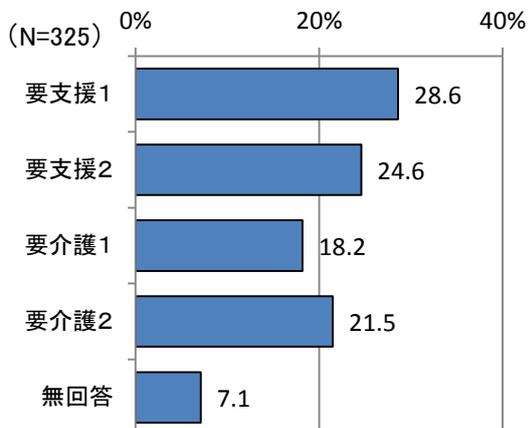
(3) 年齢



(4) 居住地区

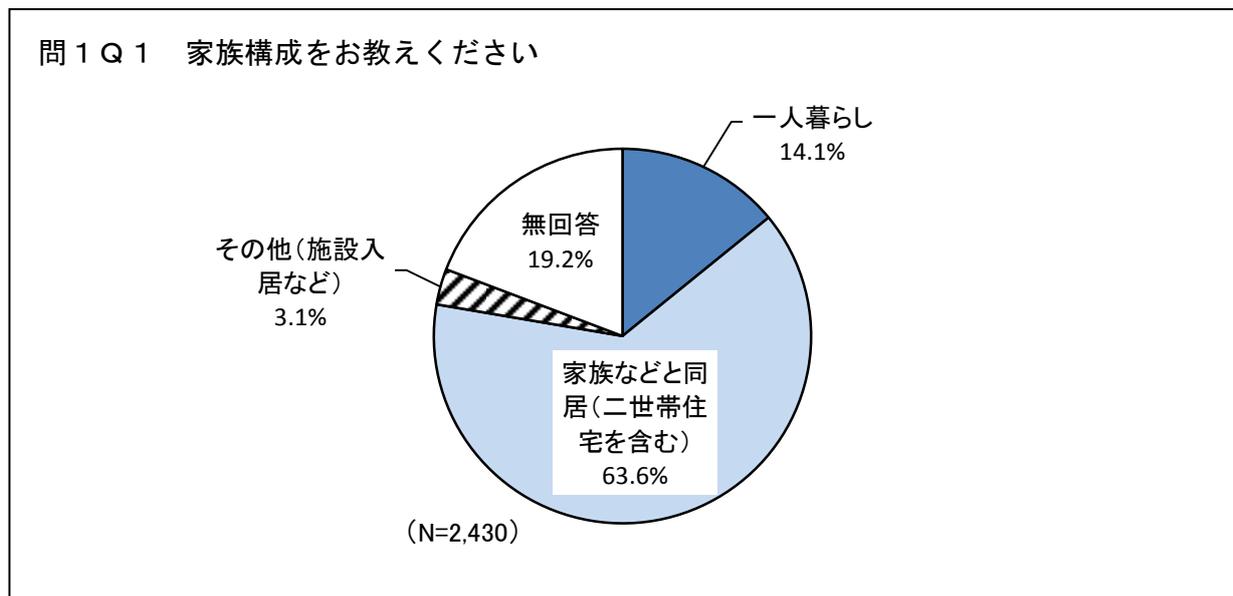


(5) 要介護度



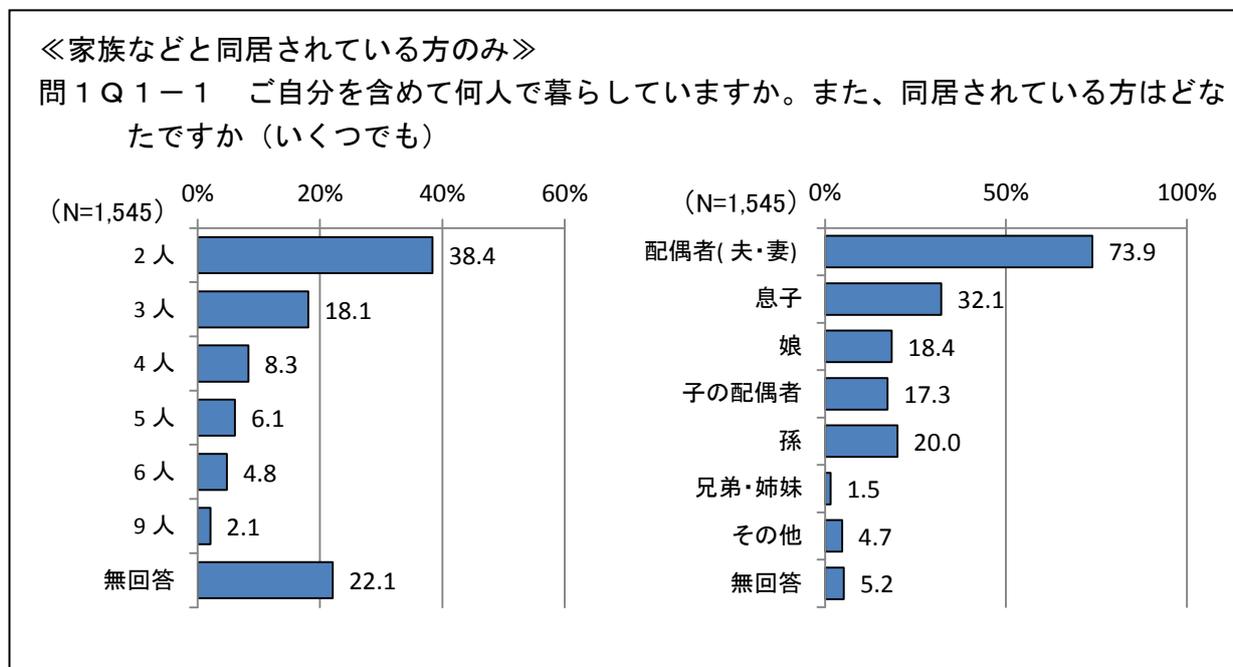
問1 家族や生活状況について

〔1〕家族構成



- 家族構成は、「一人暮らし」が14.1%、「家族などと同居」が63.6%、「その他（施設入居など）」が3.1%、となっています。

〔2〕同居者

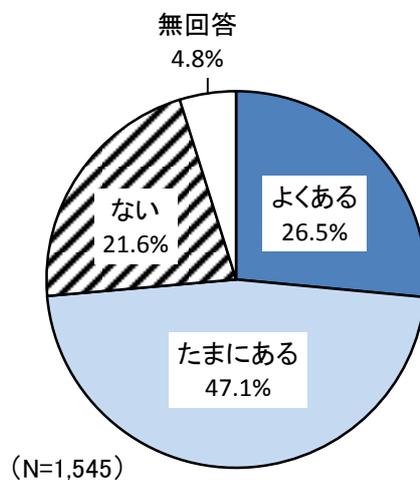


- 同居者の人数は、「2人」(38.4%)が最も高く、次いで、「3人」(18.1%)、「4人」(8.3%)、となっています。
- 同居者は、「配偶者(夫・妻)」(73.9%)が最も高く、次いで、「息子」(32.1%)、「孫」(20.0%)、となっています。

〔3〕日中独居の状況

《家族などと同居されている方のみ》

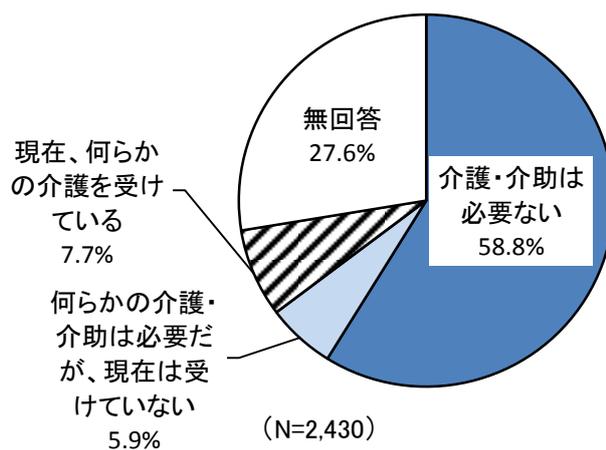
問1 Q 1-2 日中、一人になることがありますか



- 日中独居の状況は、「よくある」が26.5%、「たまにある」が47.1%、「ない」が21.6%、となっています。

〔4〕介護の必要性

問1 Q 2 あなたは、普段の生活でどなたかの介護・介助が必要ですか

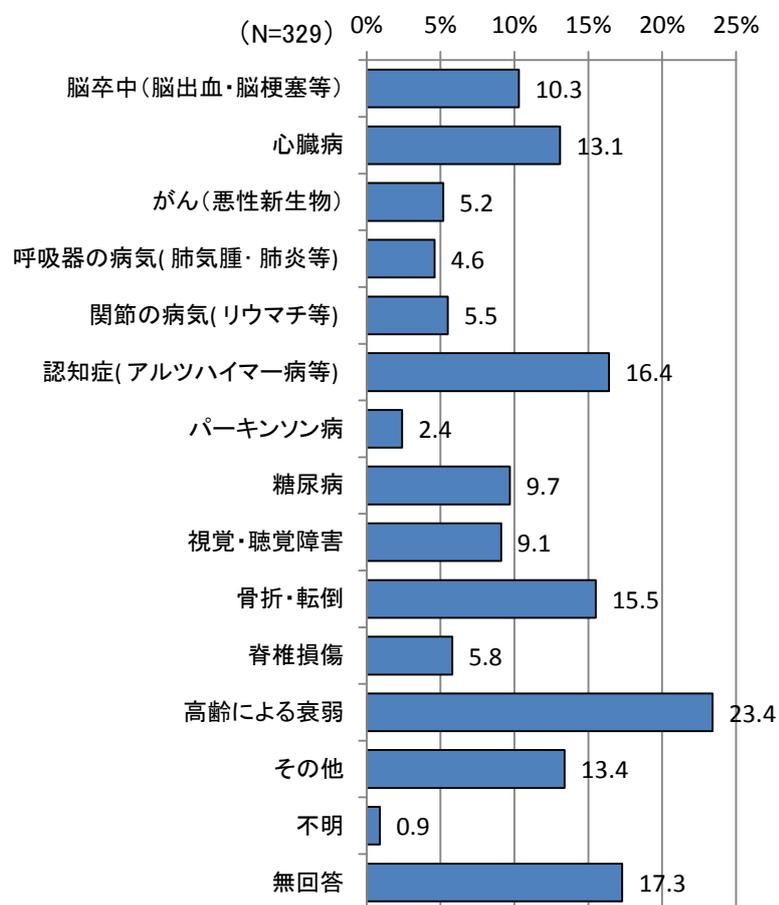


- 介護の必要性は、「介護・介助は必要ない」が58.8%、「何らかの介護・介助は必要だが、現在は受けていない」が5.9%、「現在、何らかの介護を受けている」が7.7%、となっています。

〔5〕介護が必要になった主な原因

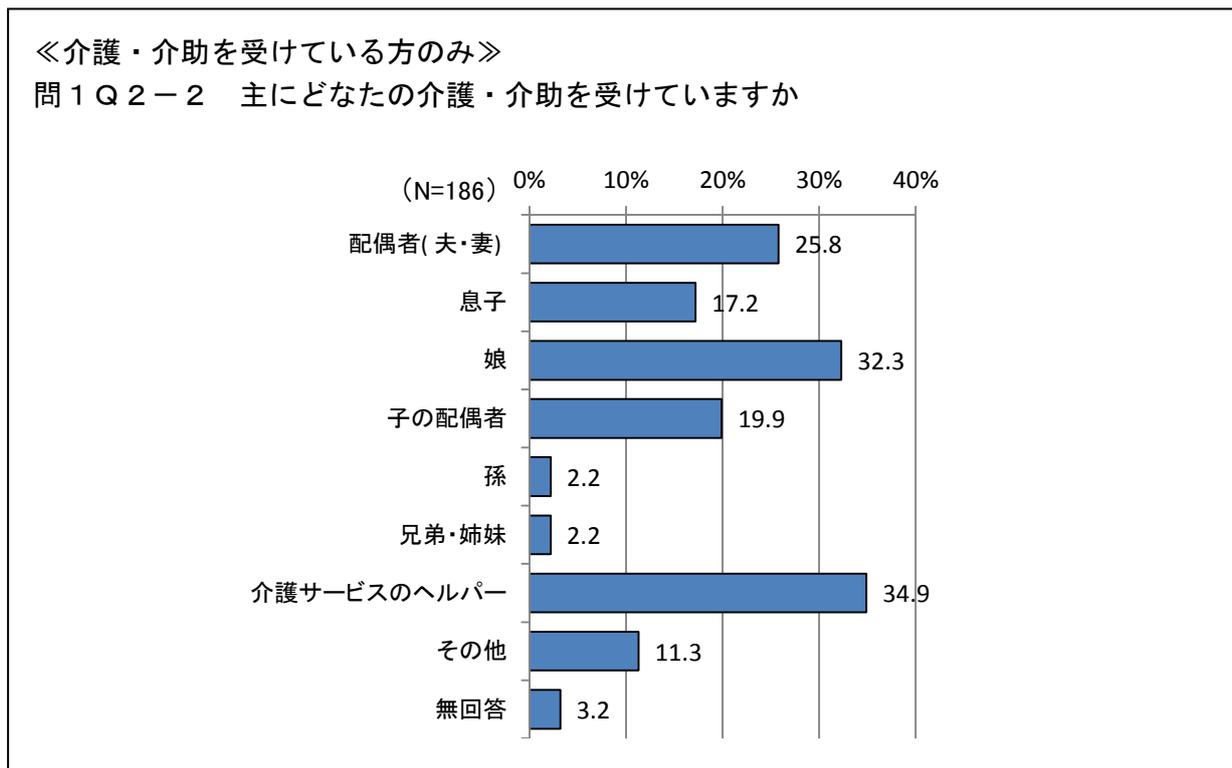
《介護・介助が必要な方、受けている方のみ》

問1Q2-1 介護・介助が必要になった主な原因はなんですか（いくつでも）



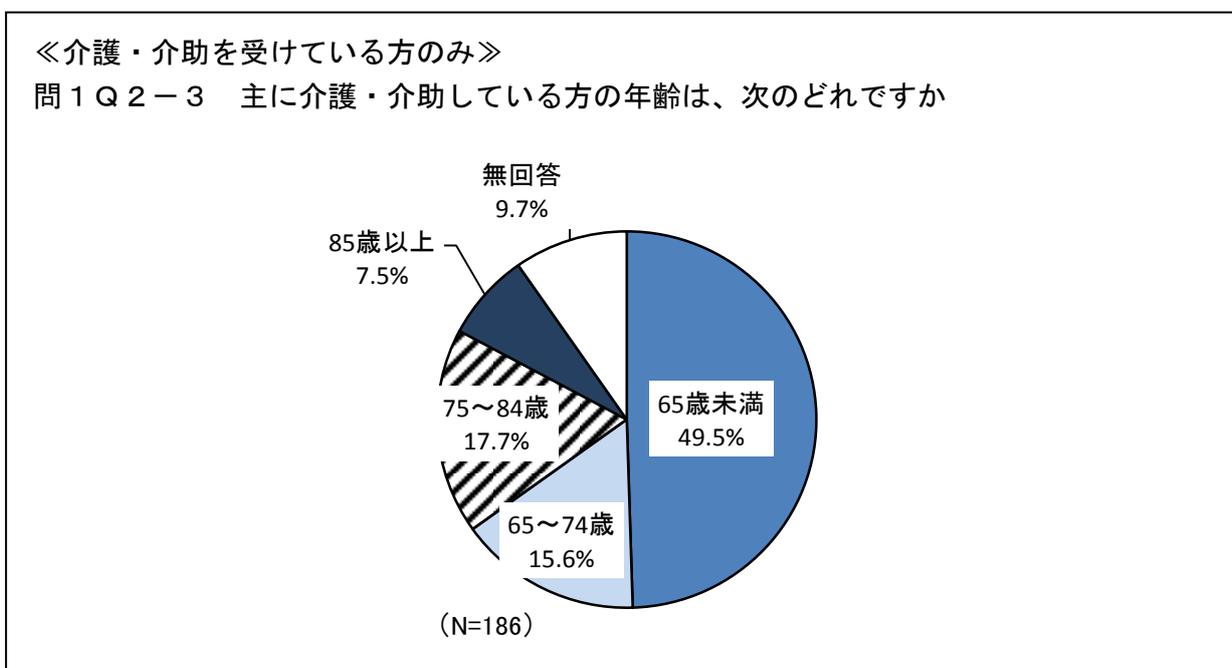
- 介護・介助が必要になった主な原因は、「高齢による衰弱」(23.4%)が最も高く、次いで、「認知症」(16.4%)、「骨折・転倒」(15.5%)、となっています。

〔6〕主な介護・介助者



- 主な介助者は、「介護サービスのヘルパー」(34.9%)が最も高く、次いで、「娘」(32.3%)、「配偶者(夫・妻)」(25.8%)、となっています。

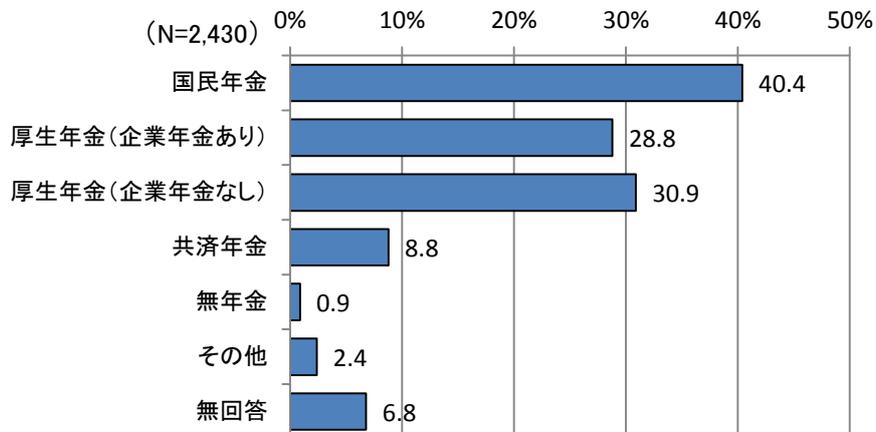
〔7〕主な介護・介助者の年齢



- 主な介護・介助者の年齢は、「65歳未満」(49.5%)が最も高く、次いで、「75~84歳」(17.7%)、「65~74歳」(15.6%)、となっています。

〔8〕年金の種類

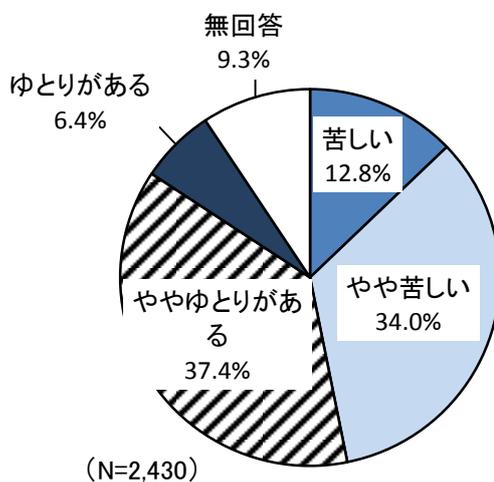
問1 Q3 年金の種類は次のどれですか



- 年金の種類は、「国民年金」が40.4%、「厚生年金（企業年金あり・なし）」が59.7%、となっています。

〔9〕経済的な暮らしの状況

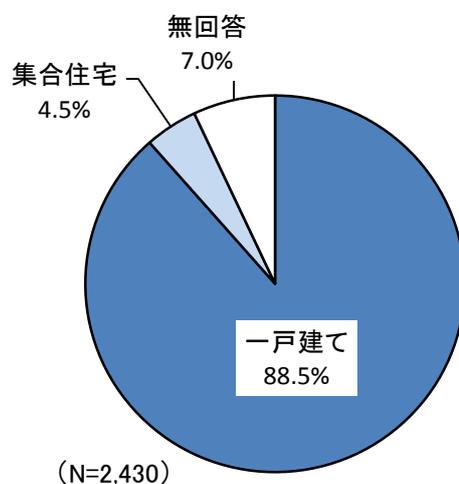
問1 Q4 現在の暮らしの状況を経済的にみてどう感じていますか



- 経済的な暮らしの状況は、「苦しい」と「やや苦しい」を合わせた『苦しい』が46.8%、「ゆとりがある」と「ややゆとりがある」を合わせた『ゆとりがある』が43.8%、となっています。

〔10〕住まい

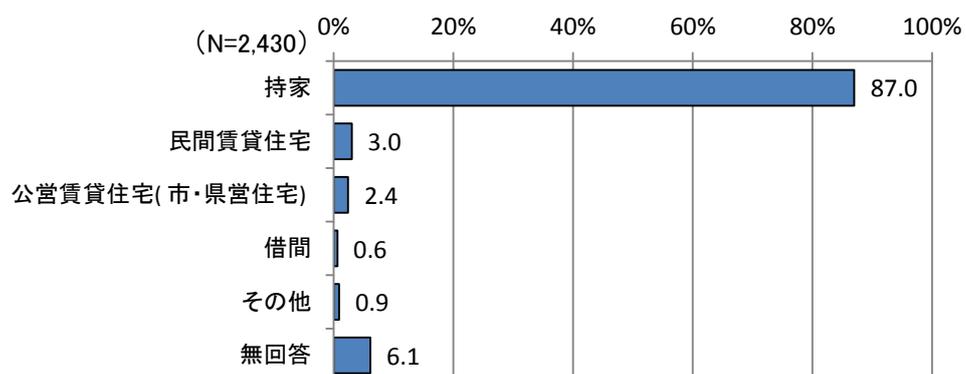
問1Q5 お住まいは、一戸建て、または集合住宅のどちらですか



- 住まいは、「一戸建て」が88.5%、「集合住宅」が4.5%、となっています。

〔11〕住まいの所有

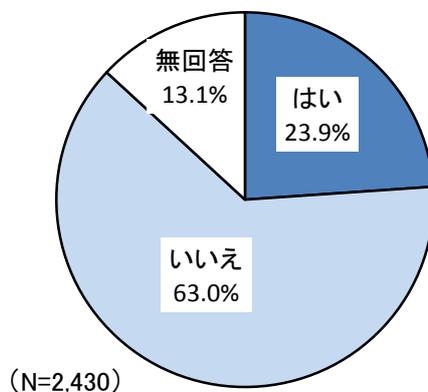
問1Q6 お住まいは、次のどれにあたりますか



- 住まいは、「持家」(87.0%)が最も高く、次いで、「民間賃貸住宅」(3.0%)、「公営賃貸住宅(市・県営住宅)」(2.4%)、となっています。

〔12〕主に生活する部屋が2階以上にあるか

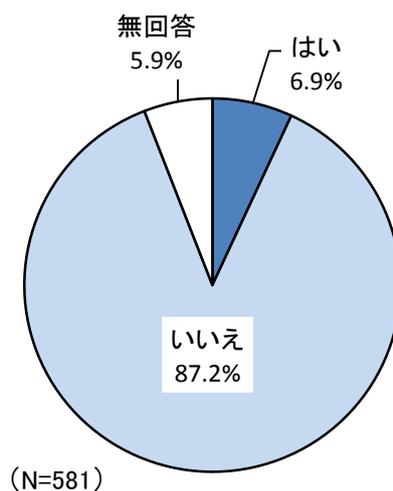
問1Q7 お住まい(主に生活する部屋)は2階以上にありますか



- 主に生活する部屋が2階以上にあるかは、「はい」が23.9%、「いいえ」が63.0%、となっています。

〔13〕エレベーターは設置されているか

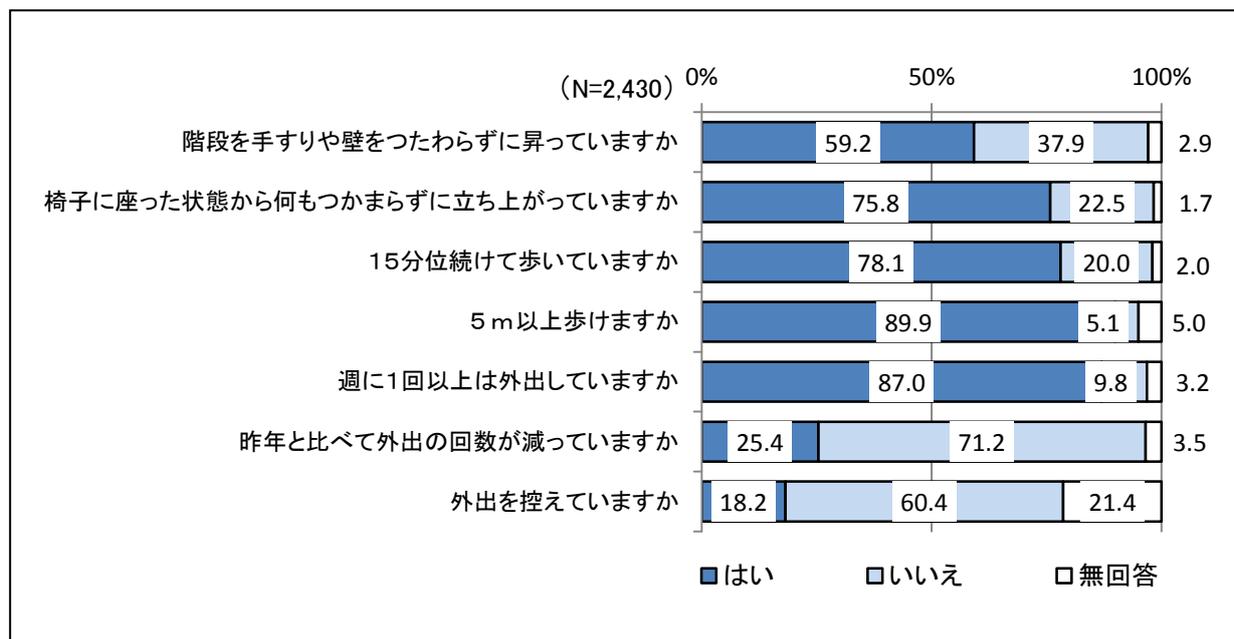
問1Q7-1 (2階以上の方) お住まいにエレベーターは設置されていますか



- エレベーターが設置されているかは、「はい」が6.9%、「いいえ」が87.2%、となっています。

問2 運動・閉じこもりについて

〔1〕 運動・閉じこもり（問2 Q1～Q7）

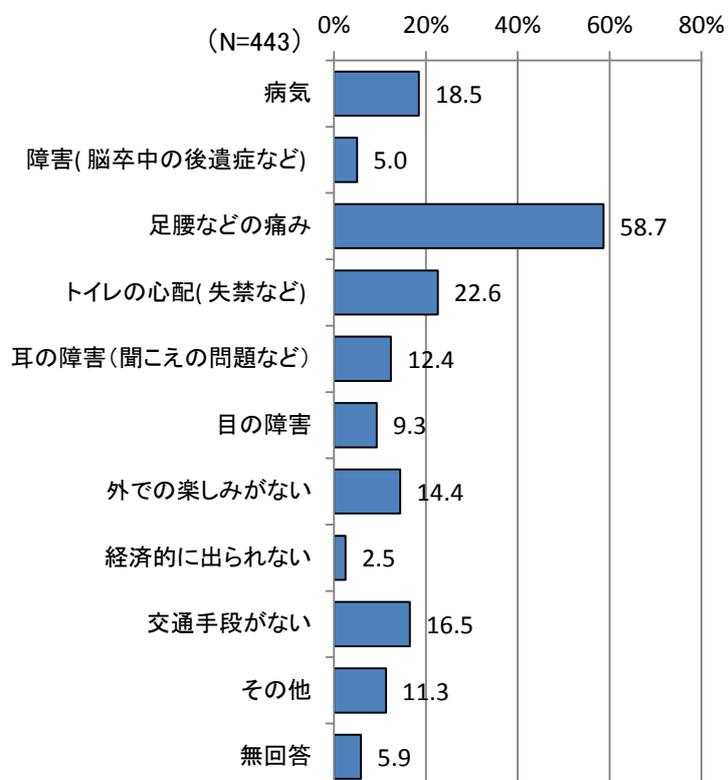


- 運動・閉じこもりについては、階段を手すりや壁をつたわずに昇っているかは「いいえ」が37.9%、昨年と比べて外出の回数が減っているかは「はい」が25.4%、椅子に座った状態から何もつかまらずに立ち上がっているかは「いいえ」が22.5%、などとなっています。

〔2〕外出を控えている理由

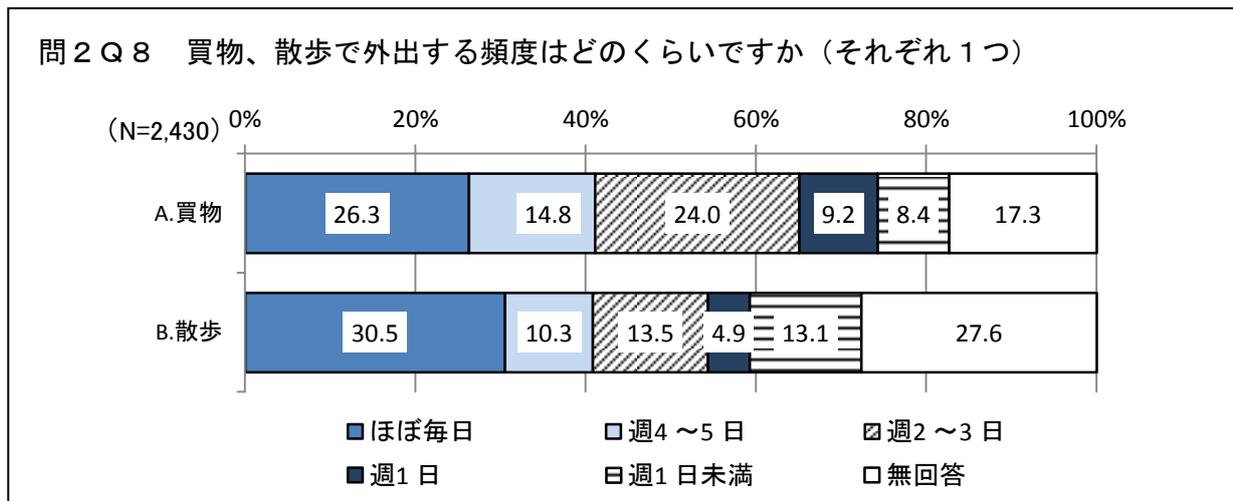
《外出を控えている方のみ》

問2 Q7-1 外出を控えている理由は、次のどれですか（いくつでも）



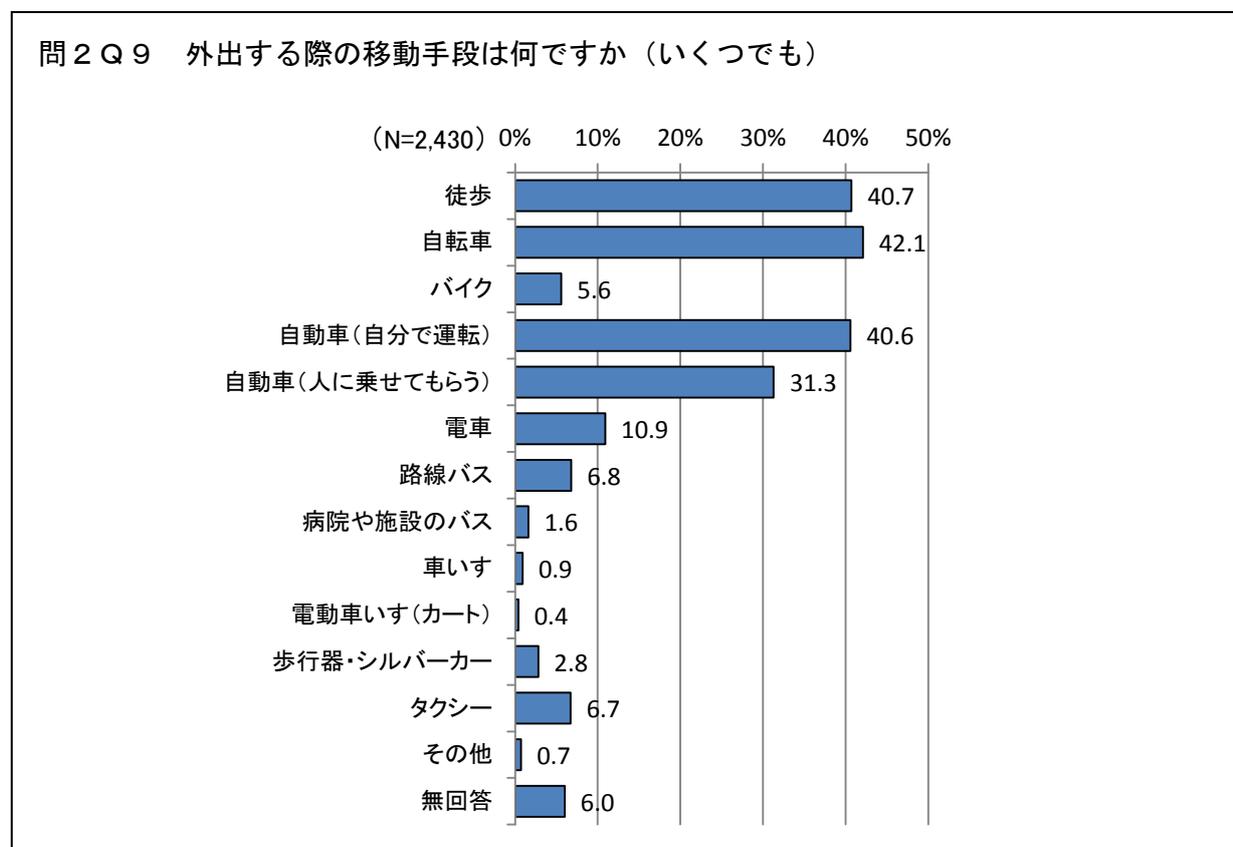
- 外出を控えている理由は、「足腰などの痛み」（58.7%）が最も高く、次いで、「トイレの心配(失禁など）」（22.6%）、「病気」（18.5%）、となっています。

〔3〕外出頻度



- 買物で外出する頻度は、「ほぼ毎日」(26.3%)が最も高く、次いで、「週2~3日」(24.0%)、「週4~5日」(14.8%)、となっています。
- 散歩で外出する頻度は、「ほぼ毎日」(30.5%)が最も高く、次いで、「週2~3日」(13.5%)、「週1日未満」(13.1%)、となっています。

〔4〕外出する際の移動手段

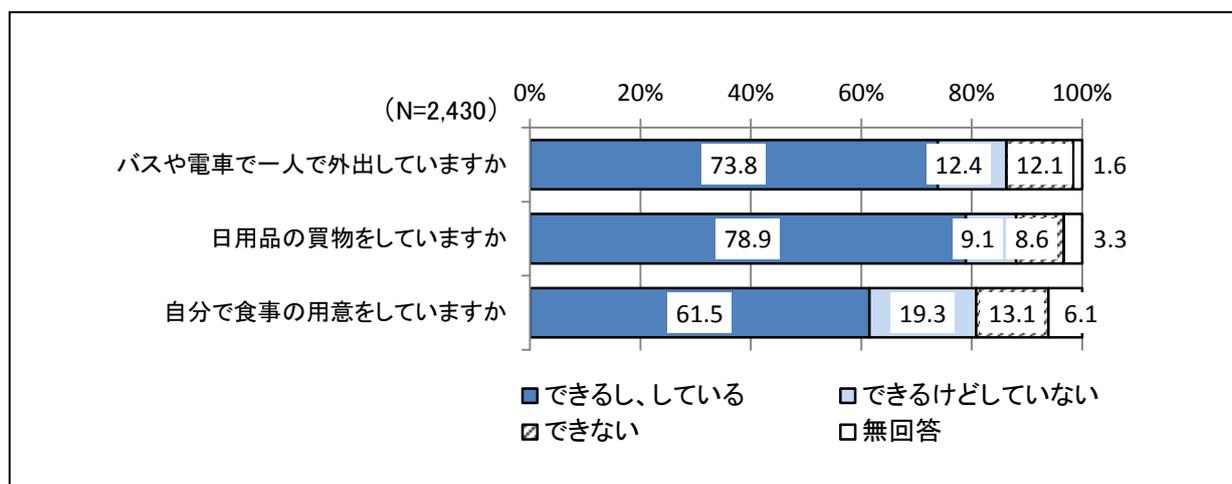


- 外出する際の移動手段は、「自転車」(42.1%)が最も高く、次いで、「徒歩」(40.7%)、「自動車(自分で運転)」(40.6%)、となっています。

問3転倒予防～問5物忘れについては、ダイジェスト版では省略しています。

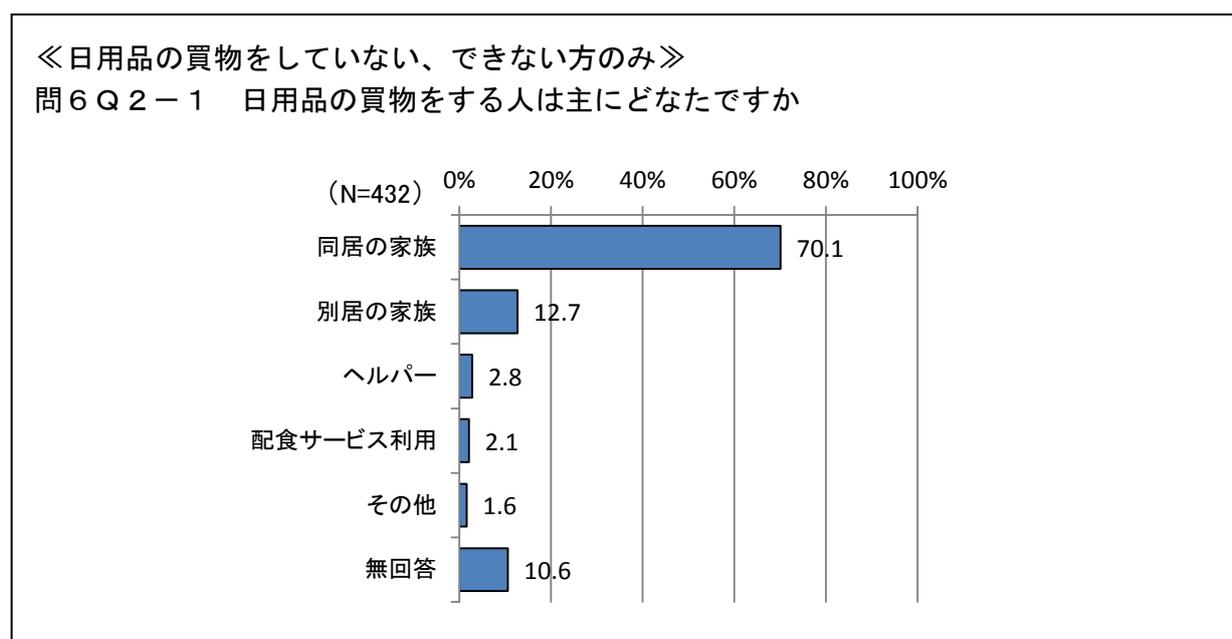
問6 日常生活について

〔1〕日常生活（問6Q1～Q3）



- バスや電車で一人で外出しているか(自家用車でも可)は、「できるし、している」が73.8%、「できるけどしていない」が12.4%、「できない」が12.1%、となっています。
- 日用品の買物をしているかは、「できるし、している」が78.9%、「できるけどしていない」が9.1%、「できない」が8.6%、となっています。
- 自分で食事の用意をしているかは、「できるし、している」が61.5%、「できるけどしていない」が19.3%、「できない」が13.1%、となっています。

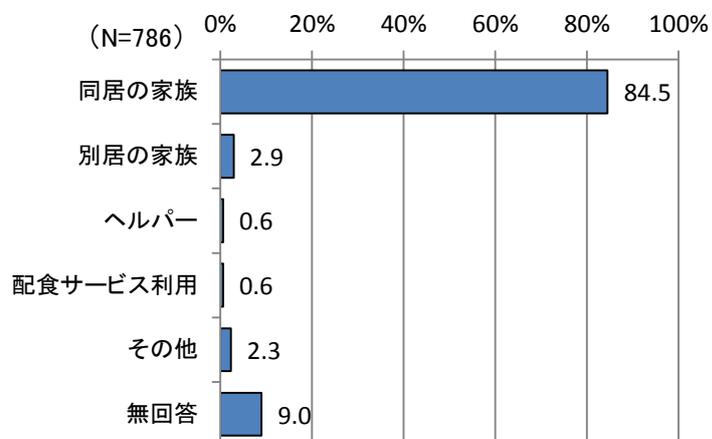
〔2〕日用品の買い物をする人



- 日用品の買物をする人は、「同居の家族」(70.1%)が最も高く、次いで、「別居の家族」(12.7%)、「ヘルパー」(2.8%)、となっています。

〔3〕 食事の用意をする人

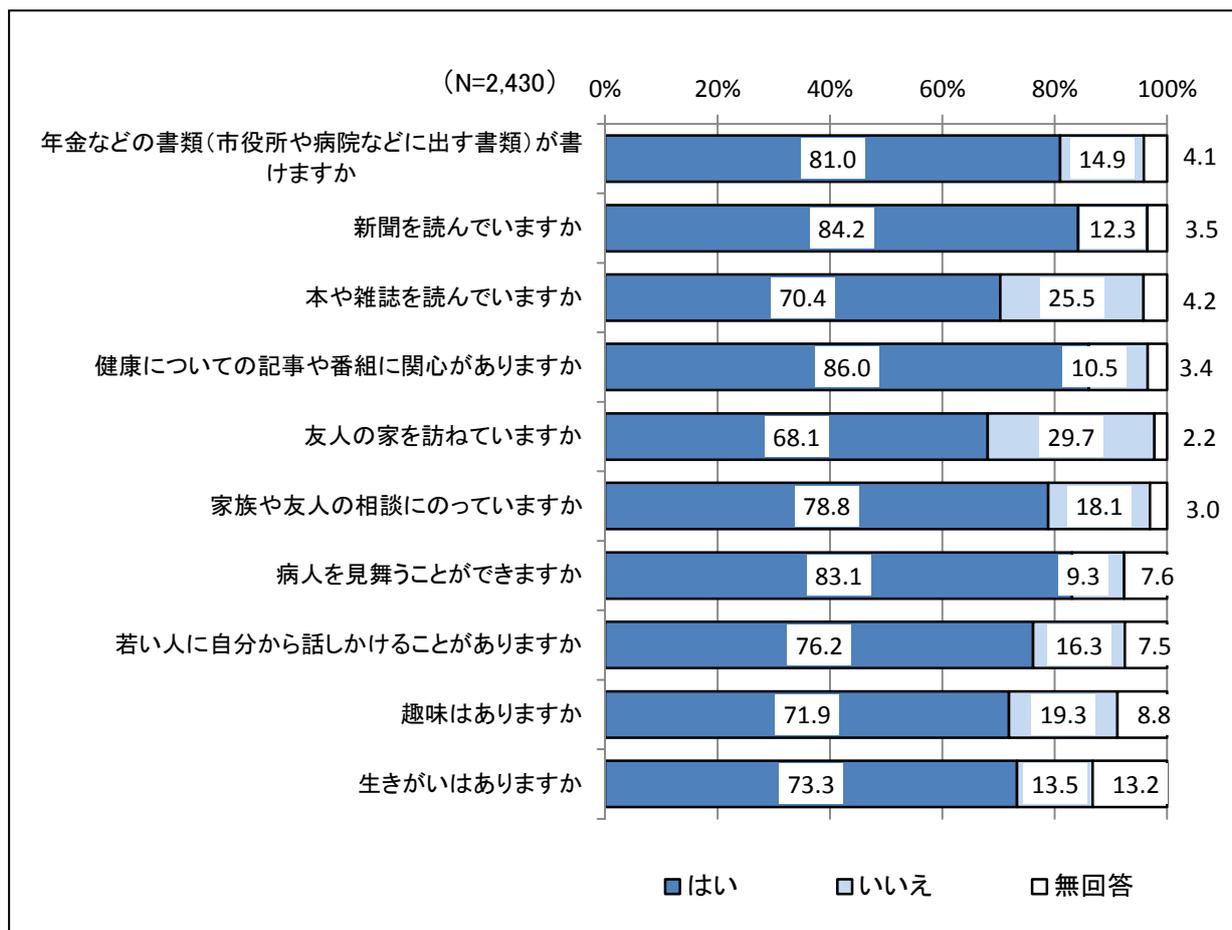
《自分で食事の用意をしていない、できない方のみ》
問6Q3-1 食事の用意をする人は主にどなたですか



- 食事の用意をする人は、「同居の家族」(84.5%)が最も高く、次いで、「別居の家族」(2.9%)、「その他」(2.3%)、となっています。

問7 社会参加について

〔1〕社会的能動性（問7 Q1～Q10）

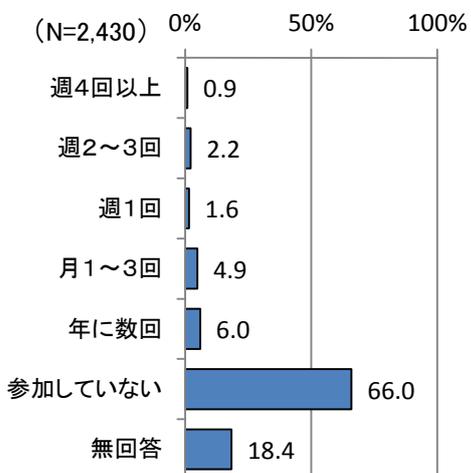


- 社会的能動性について、「はい」の割合が高いのは、健康についての記事や番組に関心があるかは「はい」が86.0%、新聞を読んでいるかは「はい」が84.2%、病人を見舞うことができるかは「はい」が83.1%、などとなっています。

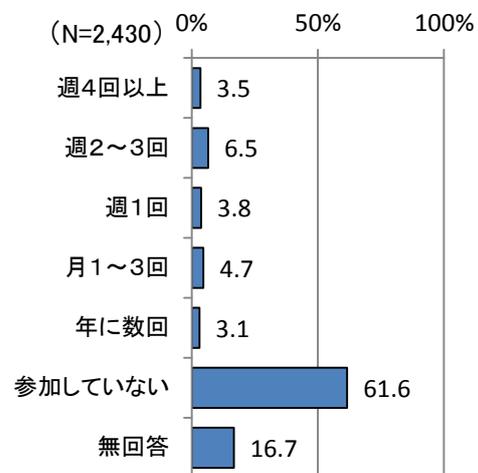
〔2〕社会参加（会・グループへの参加）

問7 Q11 以下のような会・グループ等にどのくらいの頻度で参加していますか

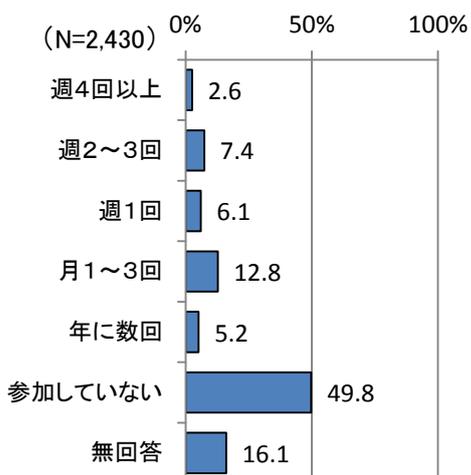
(1) ボランティアのグループ



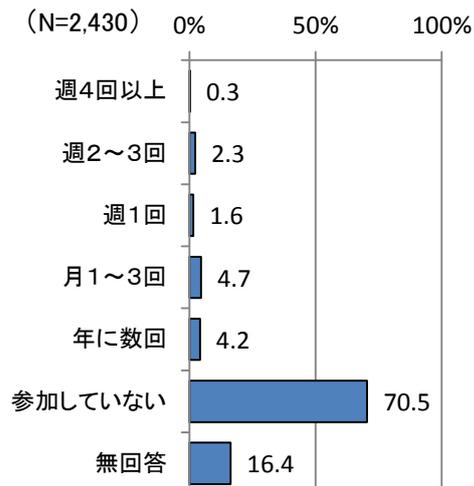
(2) スポーツ関係のグループやクラブ



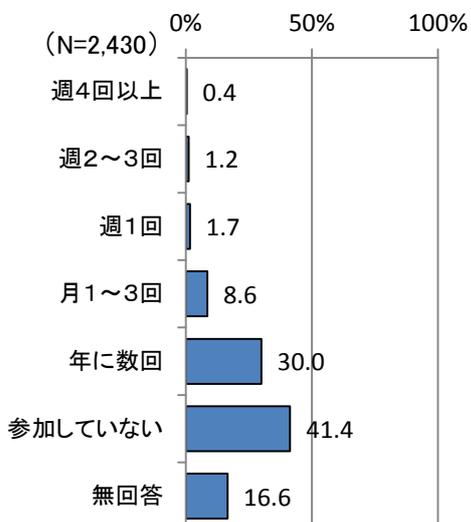
(3) 趣味関係のグループ



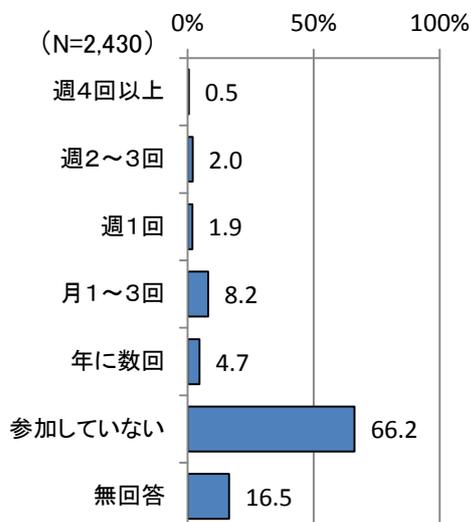
(4) 老人クラブ



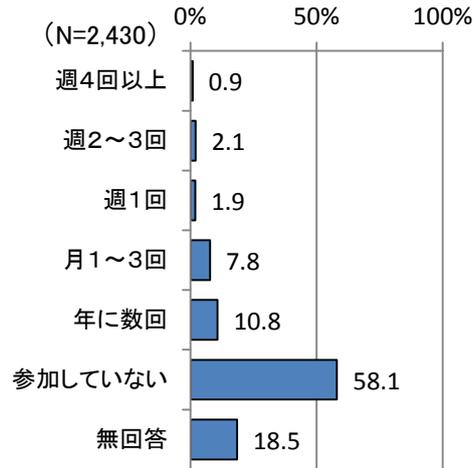
(5) 町内会・自治会



(6) 学習・教養サークル



(7) その他の団体や会



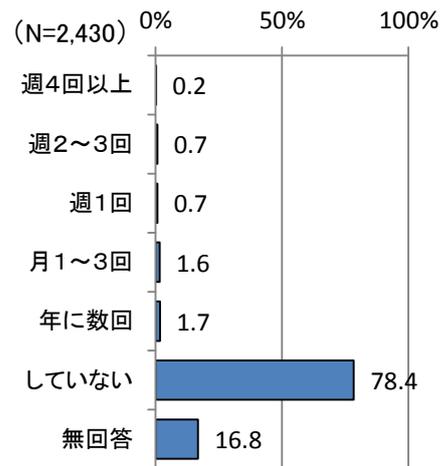
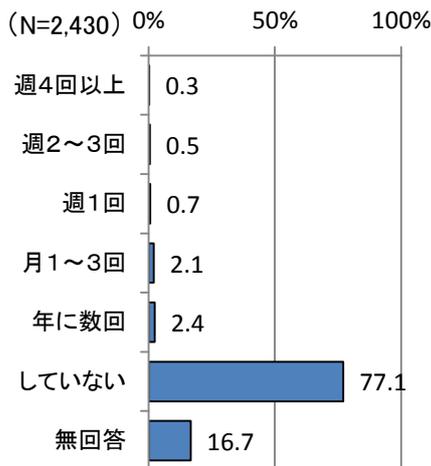
- 会やグループへの参加状況は、「参加していない」が 41.4%~70.5%と高くなっています。
- 参加の割合が比較的高いのは、『月1回以上』（「週4回以上」、「週2~3回」、「週1回」、「月1~3回」の合計）でみると、「趣味関係のグループ」が 28.9%、「スポーツ関係」が 18.5%、「その他」が 12.7%、などとなっています。

〔3〕社会参加（社会参加活動や仕事）

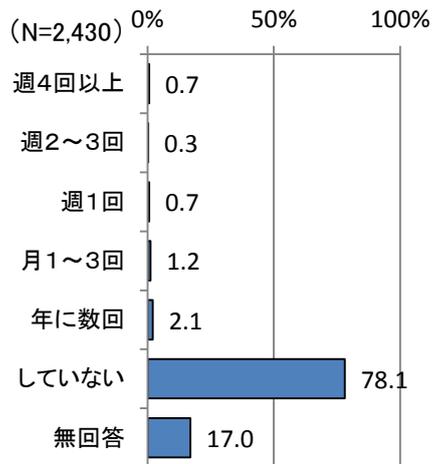
問7 Q12 以下のような活動（社会参加活動や仕事）をどのくらいの頻度でしていますか

(1) 見守りが必要な高齢者を支援する活動

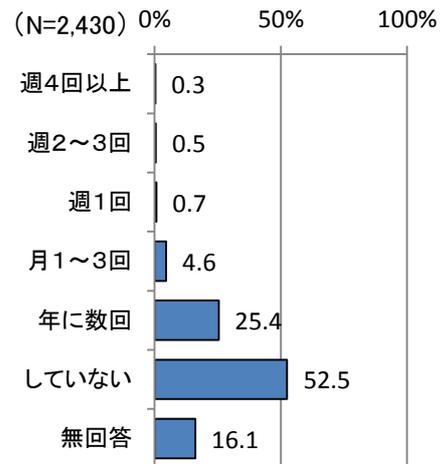
(2) 介護が必要な高齢者を支援する活動



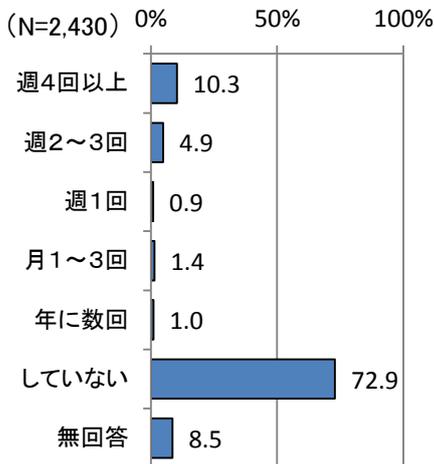
(3) 子どもを育てている親を支援する活動



(4) 地域の生活環境の改善（美化）活動



(5) 収入のある仕事

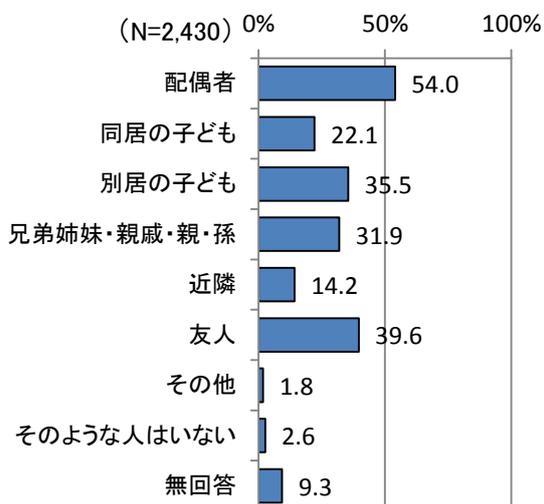


- 社会参加活動や仕事の状況は、「していない」が 52.5%~78.4%と最も高くなっています。
- 参加の割合が比較的高いのは、「地域の生活環境の改善（美化）活動」を「年に数回」している方が 25.4%、「収入のある仕事」を「週4回以上」している方が 10.3%、などとなっています。

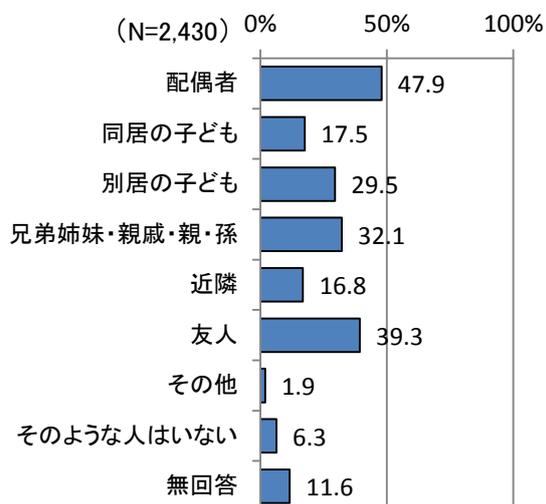
〔4〕心配事や愚痴（ぐち）を聞いてくれる人

問7 Q13 あなたとまわりの人の「たすけあい」についておうかがいします。あてはまるすべてに○をしてください。あてはまる人がいない場合は「8. そのような人はいない」に○をつけてください。（いくつでも）

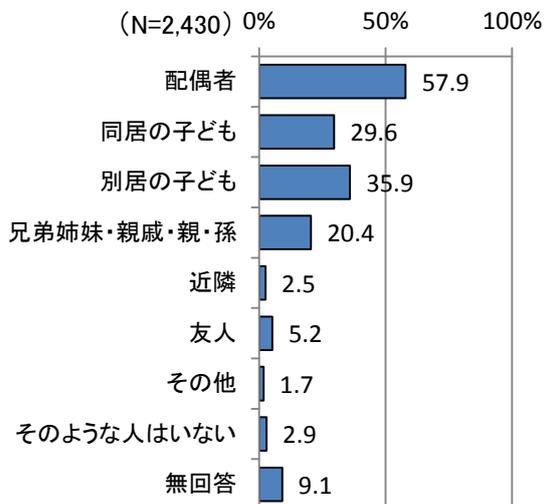
(1) 心配事や愚痴を聞いてくれる人



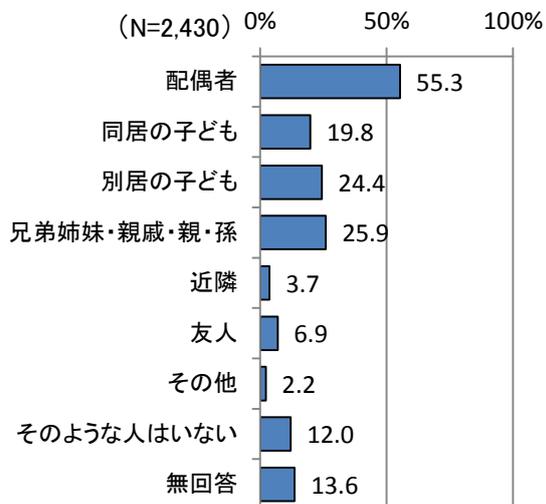
(2) 心配事や愚痴を聞いてあげる人



(3) 看病や世話をしてくれる人

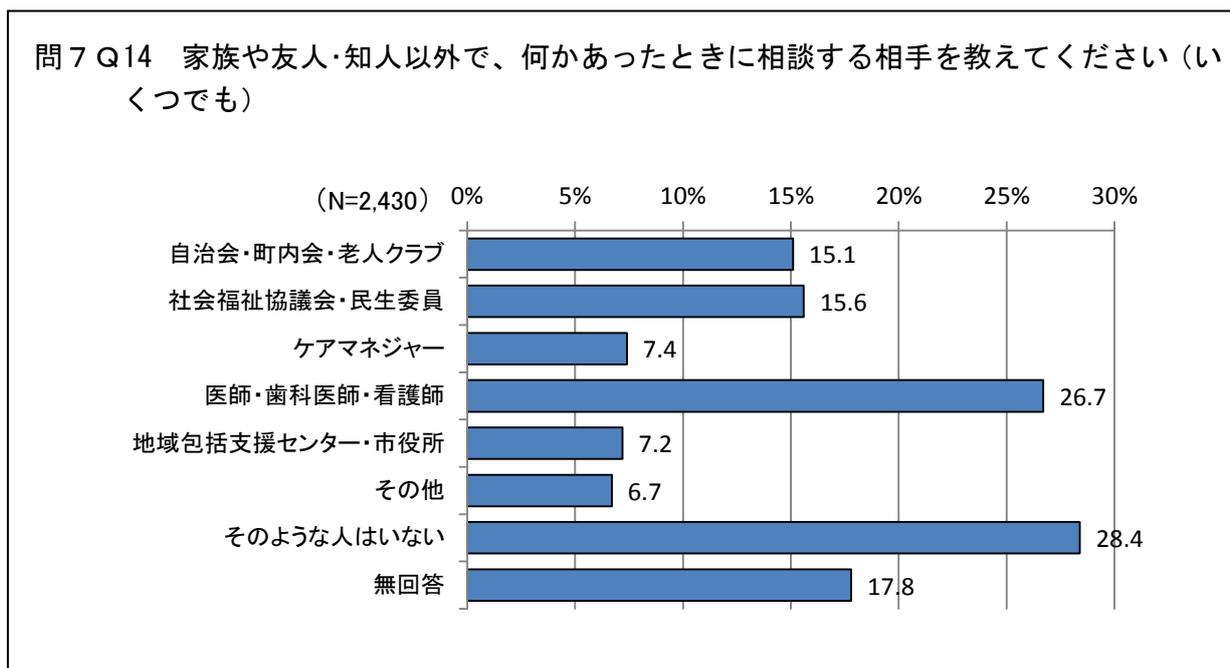


(4) 看病や世話をしてあげる人



- 心配事や愚痴を聞いてくれる人は、「配偶者」(54.0%) や「友人」(39.6%) が高く、「そのような人はいない」は 2.6%、となっています。
- 病気で数日間寝込んだときに、看病や世話をしてくれる人は、「配偶者」(57.9%) が最も高く、「そのような人はいない」は 2.9%、などとなっています。

〔5〕 家族や友人・知人以外で、何かあった時に相談する人

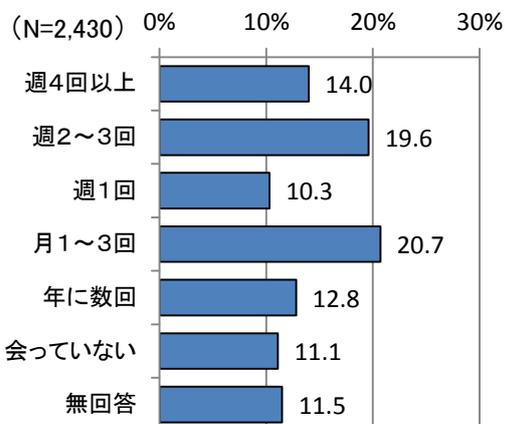


- 家族や友人・知人以外で、何かあったときに相談する相手は、「そのような人はいない」（28.4%）が最も高く、次いで、「医師・歯科医師・看護師」（26.7%）、「社会福祉協議会・民生委員」（15.6%）、となっています。

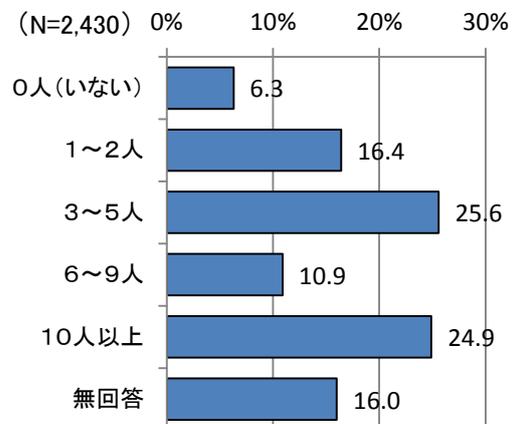
〔6〕友人関係

問7 Q15 友人関係についておうかがいします。

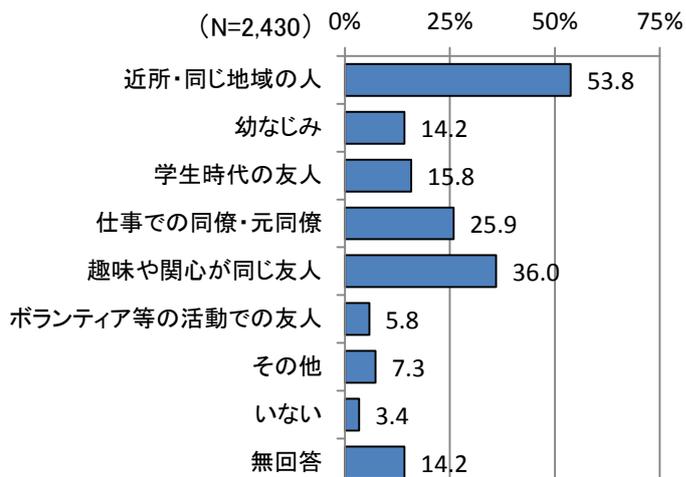
(1) 友人・知人と会う頻度



(2) この1ヶ月間で会った友人・知人の人数



(3) よく会う友人・知人との関係 (いくつでも)

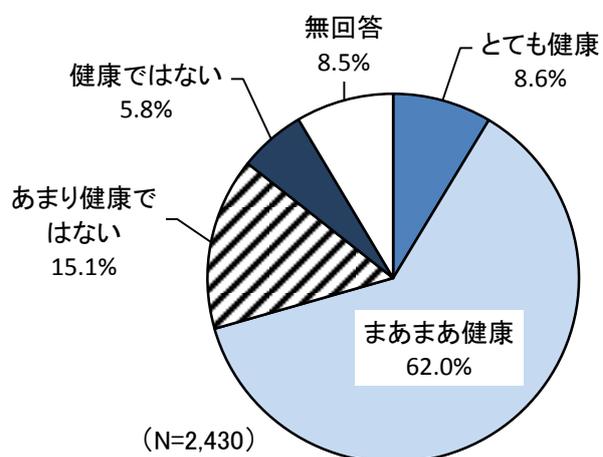


- 友人・知人と会う頻度は、「月1~3回」(20.7%)が最も高く、次いで、「週2~3回」(19.6%)、「週4回以上」(14.0%)、となっています。
- この1ヶ月間に会った友人・知人の人数は、「3~5人」(25.6%)が最も高く、次いで、「10人以上」(24.9%)、「1~2人」(16.4%)、となっています。
- よく会う友人・知人との関係は、「近所・同じ地域の人」(53.8%)が最も高く、次いで、「趣味や関心が同じ友人」(36.0%)、「仕事での同僚・元同僚」(25.9%)、となっています。

問8 健康について

〔1〕健康状態

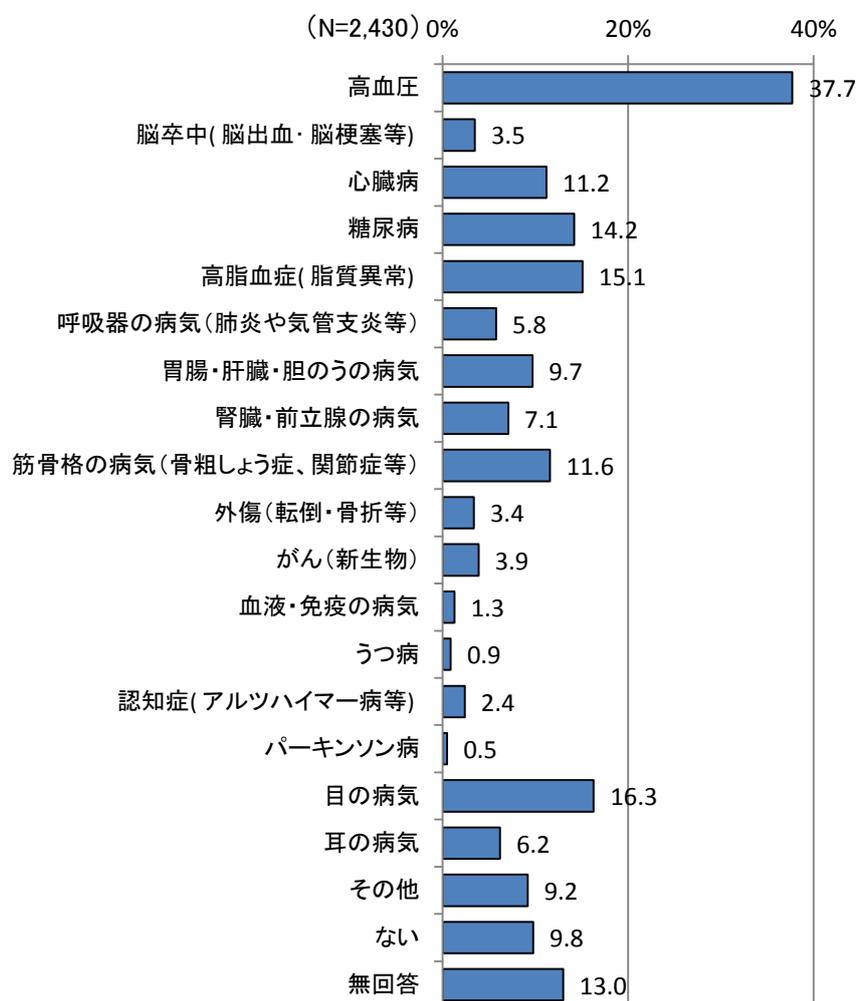
問8 Q1 普段、ご自分で健康だと思いますか



- 普段、自分で健康だと思うかは、「まあまあ健康」(62.0%)が最も高く、次いで、「あまり健康ではない」(15.1%)、「とても健康」(8.6%)、となっています。

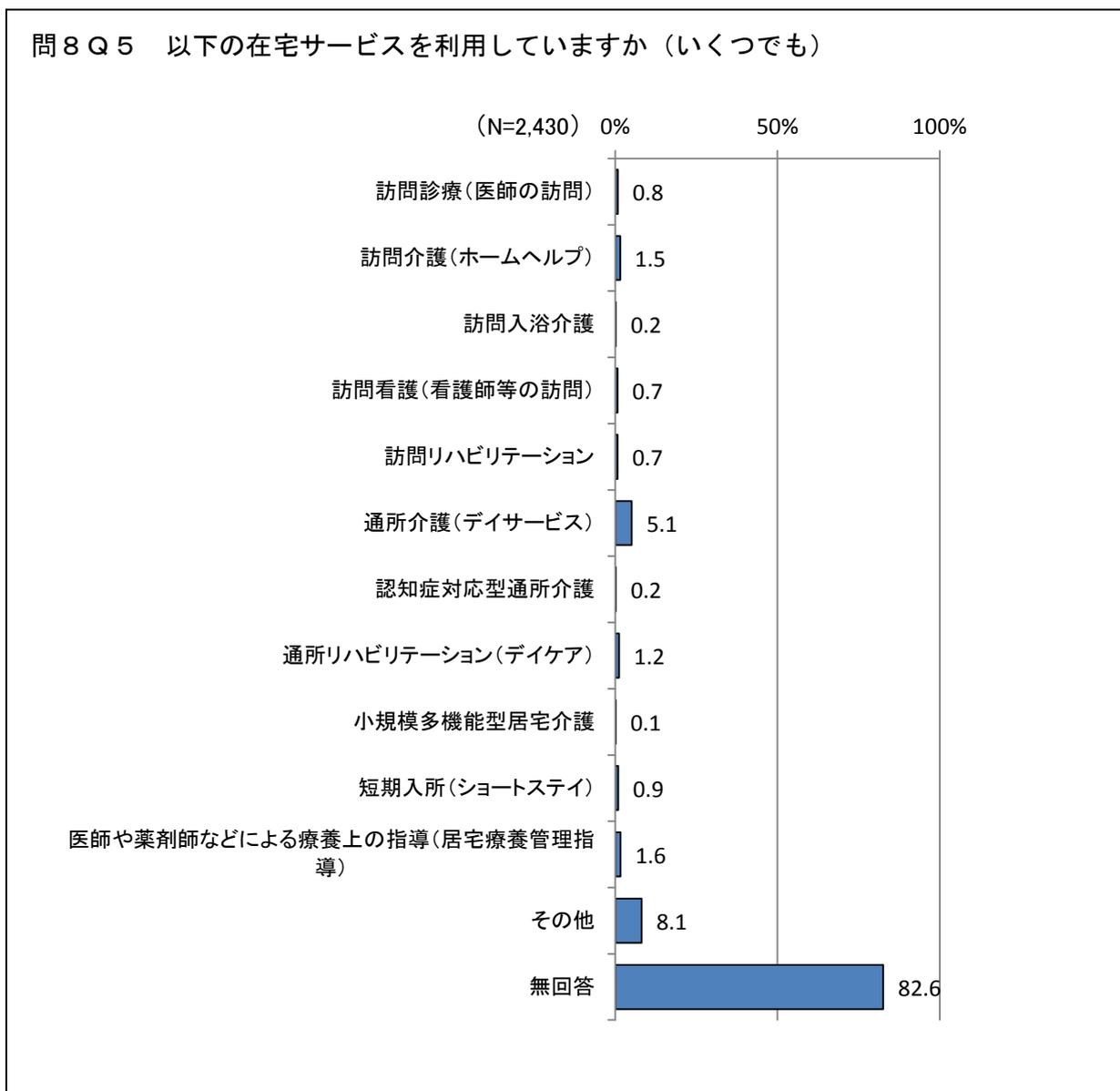
〔2〕 現在治療中、または後遺症のある病気

問8 Q2 現在治療中、または後遺症のある病気はありますか（いくつでも）



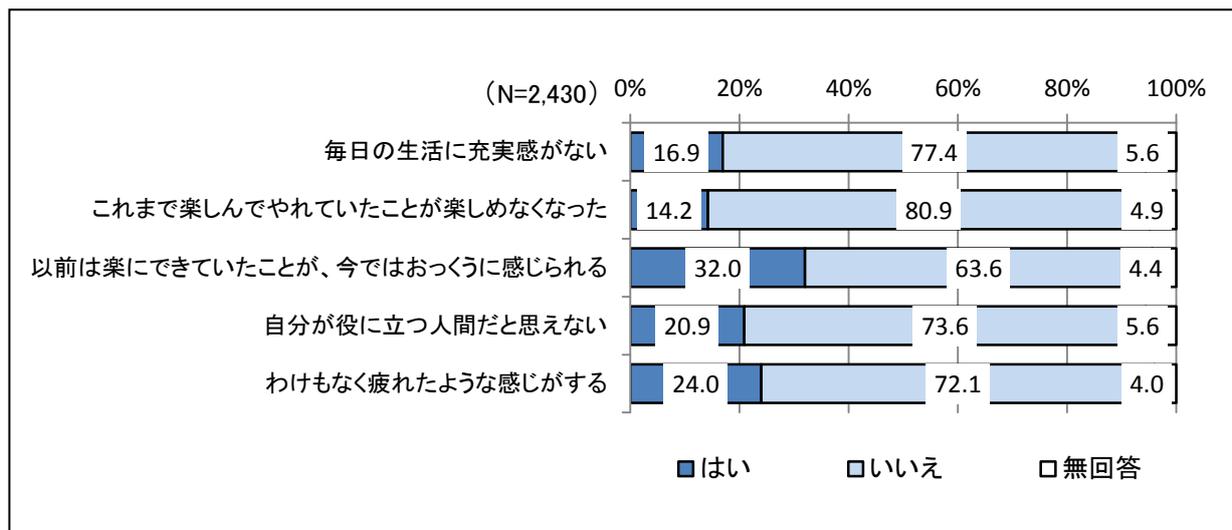
- 現在治療中、または後遺症のある病気は、「高血圧」（37.7%）が最も高く、次いで、「目の病気」（16.3%）、「高脂血症(脂質異常）」（15.1%）、となっています。

〔3〕在宅サービスの利用



- 利用している在宅サービスは、「通所介護」(5.1%)が最も高く、次いで、「医師や薬剤師などによる療養上の指導」(1.6%)、「訪問介護」(1.5%)、となっています。

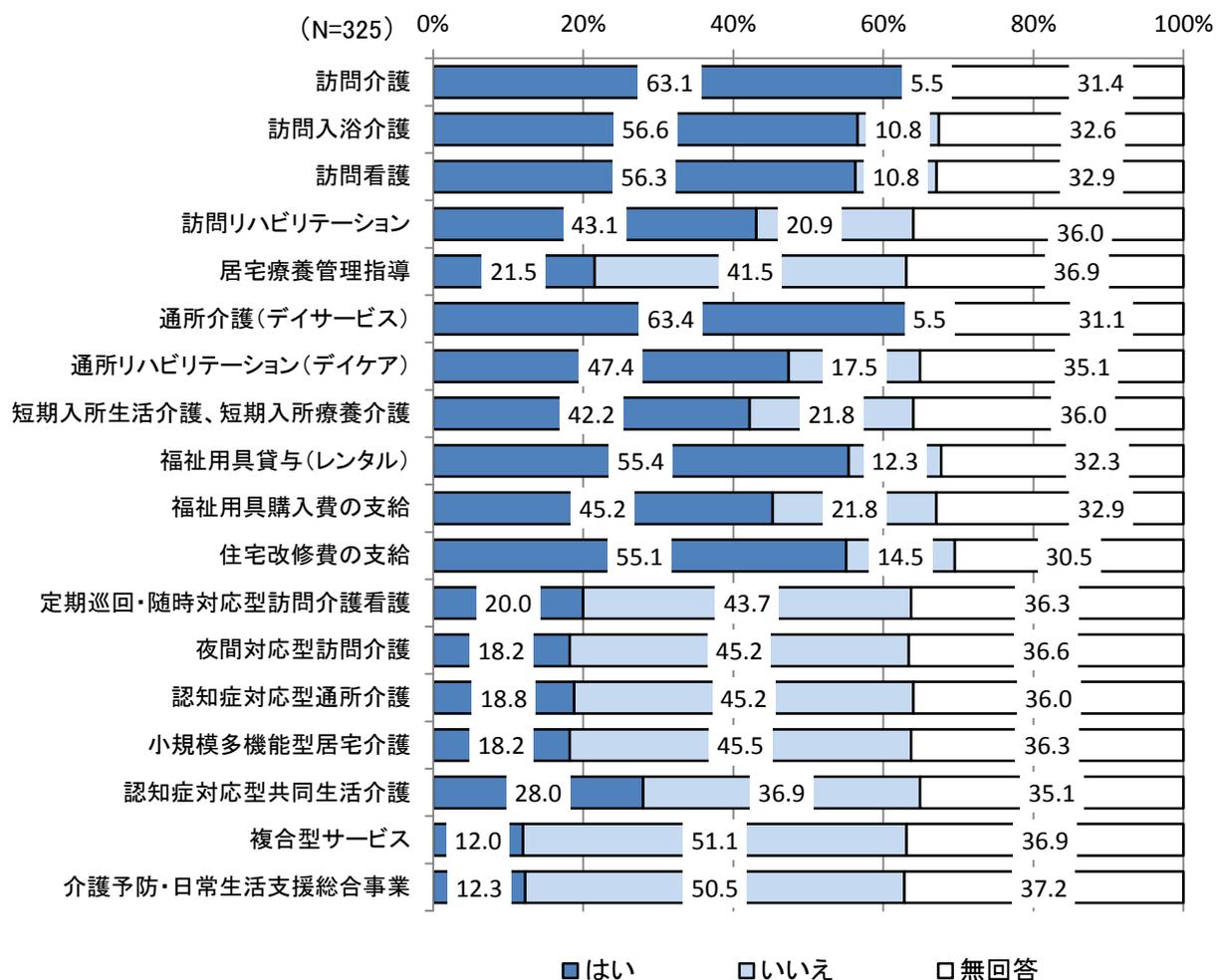
〔4〕ここ2週間の生活（問8Q8～Q12）



- ここ2週間の生活については、以前は楽にできていたことが今ではおっくうに感じられるかは「はい」が32.0%、わけもなく疲れたような感じがするかは「はい」が24.0%、自分が役に立つ人間だと思えないかは「はい」が20.9%、などとなっています。

〔5〕介護保険サービスの認知度

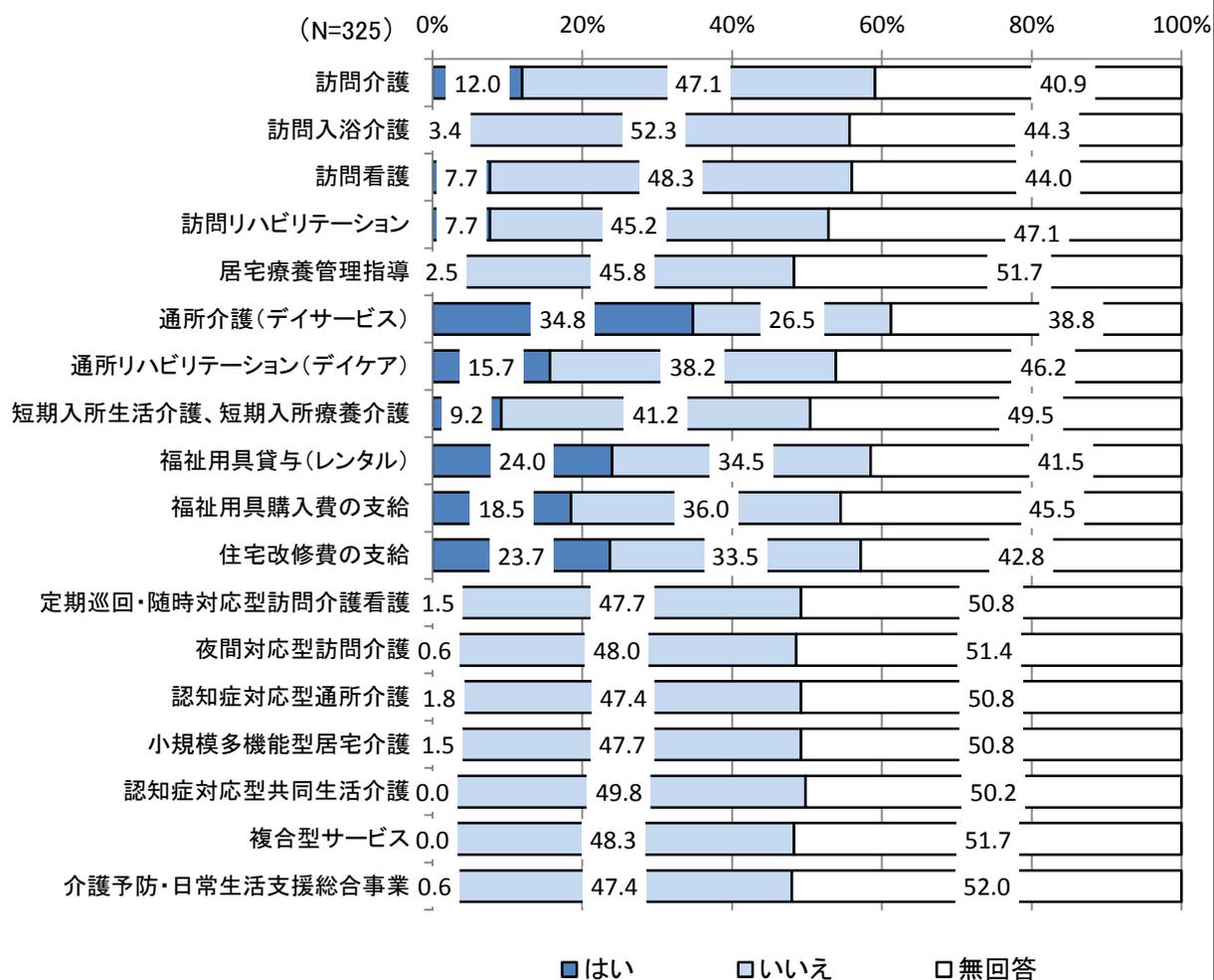
問8Q13 次の介護保険サービスについて、知っているものをお答えください。1～18のサービスごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。



- 介護保険サービスの認知度は、「通所介護(デイサービス)」(63.4%)が最も高く、次いで、「訪問介護」(63.1%)、「訪問入浴介護」(56.6%)、となっています。

〔6〕介護保険サービスの利用経験

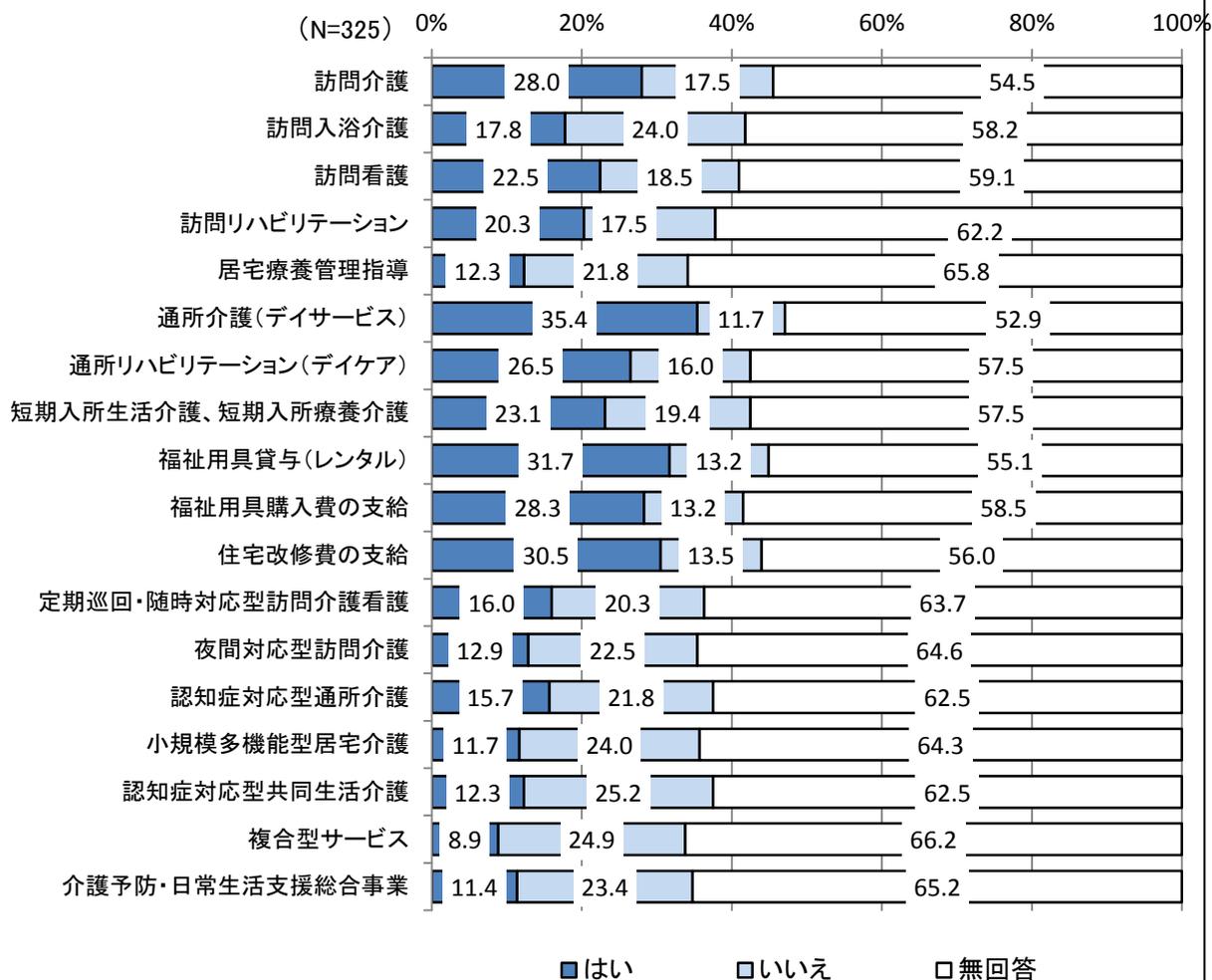
問8Q13 次の介護保険サービスについて、これまでに利用したことがあるものをお答えください。1～18のサービスごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。



- 介護保険サービスの利用経験は、「通所介護(デイサービス)」(34.8%)が最も高く、次いで、「福祉用具貸与(レンタル)」(24.0%)、「住宅改修費の支給」(23.7%)、となっています。

〔7〕介護保険サービスの利用意向

問8Q13 次の介護保険サービスについて、今後、利用したいと思うものをお答えください。1～18のサービスごとにA～Cのそれぞれについて、「はい」「いいえ」のいずれかに○をつけてください。

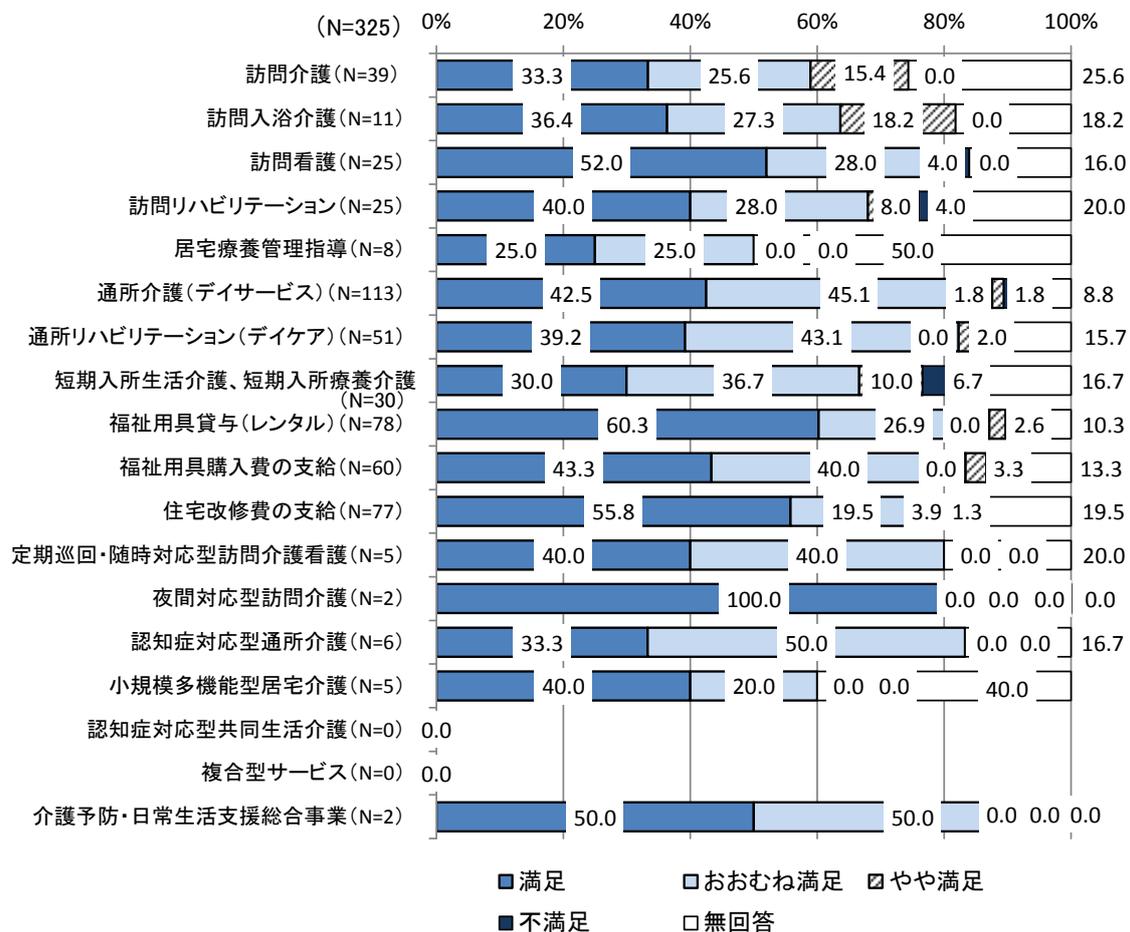


- 介護保険サービスの利用意向は、「通所介護(デイサービス)」(35.4%)が最も高く、次いで、「福祉用具貸与(レンタル)」(31.7%)、「住宅改修費の支給」(30.5%)、となっています。

〔8〕介護保険サービスの満足度

《利用経験のある方のみ》

問8Q13 次の介護保険サービスについて、利用したことがある場合は、「D」にその満足度をお答えください（それぞれ1～4の1つに○）

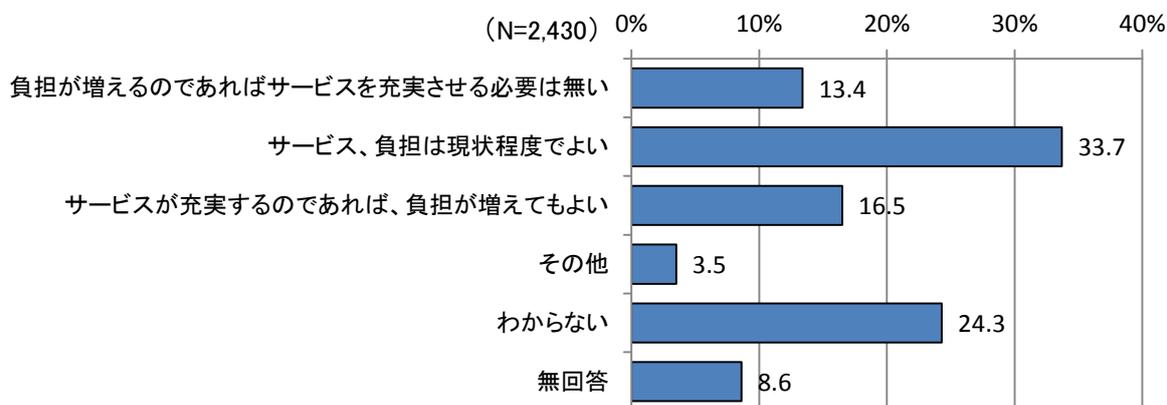


- 介護保険サービスの満足度が高いのは（「満足」・「おおむね満足」・「やや満足」の合計）、
「夜間対応型訪問介護」（100%）、「介護予防・日常生活支援総合事業」（100%）、「福祉用具貸与（レンタル）」（89.8%）、「通所介護（デイサービス）」（89.4%）、となっています。

問9 その他

〔1〕介護サービスと介護保険料のバランス

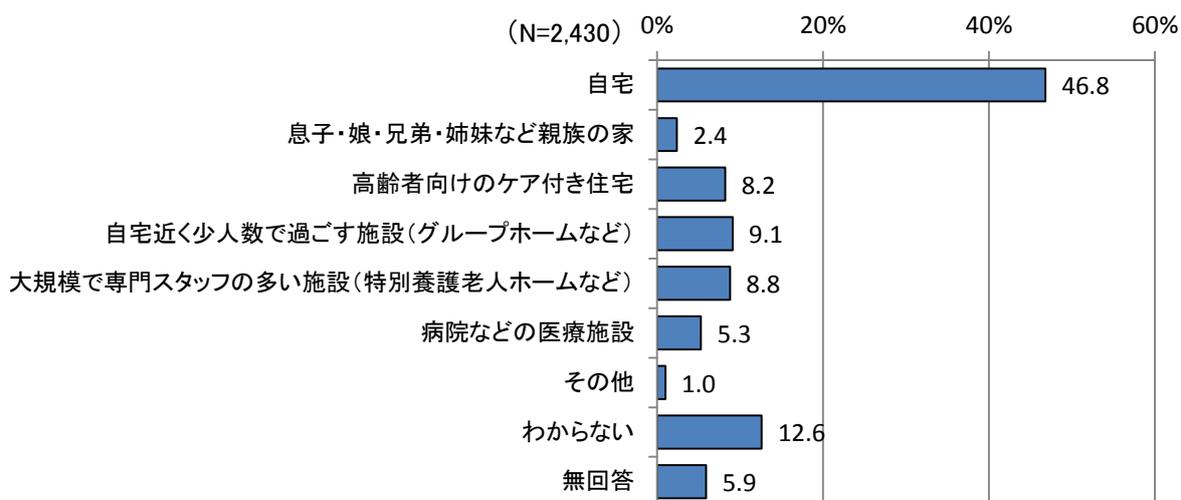
問9 Q1 高齢者が安心して暮らせるための介護保険ですが、今後、施設を整備したり、サービスを充実させるために、保険料負担が増えることに対して、どう思いますか（1つだけ）



- 介護サービスと介護保険料のバランスについてどう思うかは、「サービス、負担は現状程度でよい」（33.7%）が最も高く、次いで、「サービスが充実するのであれば、負担が増えてもよい」（16.5%）、「負担が増えるのであればサービスを充実させる必要は無い」（13.4%）、となっています。

〔2〕介護を受けたい場所

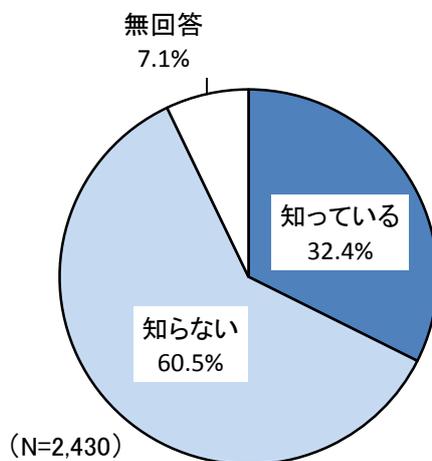
問9 Q2 介護を受ける場合、どのような場所で介護を受けたいと思いますか（1つだけ）



- 介護を受けたい場所は、「自宅」（46.8%）が最も高く、次いで、「自宅近く少人数で過ごす施設」（9.1%）、「大規模で専門スタッフの多い施設」（8.8%）、となっています。

〔3〕 地域包括支援センターの認知度

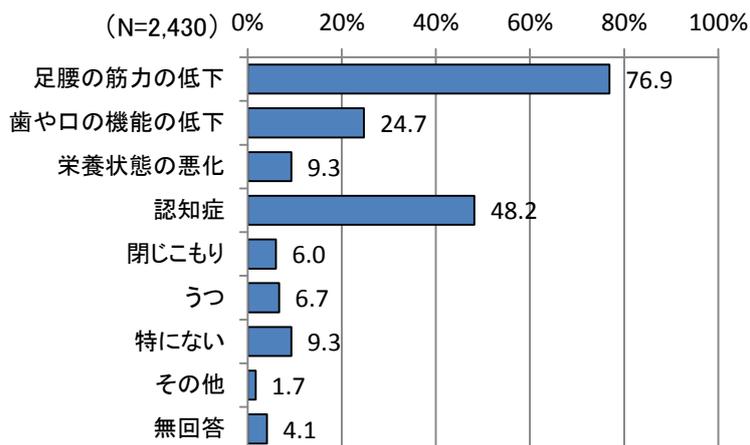
問9 Q3 地域住民の心身の健康の保持及び生活の安定のために、必要な援助を行う「地域包括支援センター」が設置されていますが、ご存知ですか（1つだけ）



- 地域包括支援センターの認知度は、「知っている」が32.4%、「知らない」が60.5%、となっています。

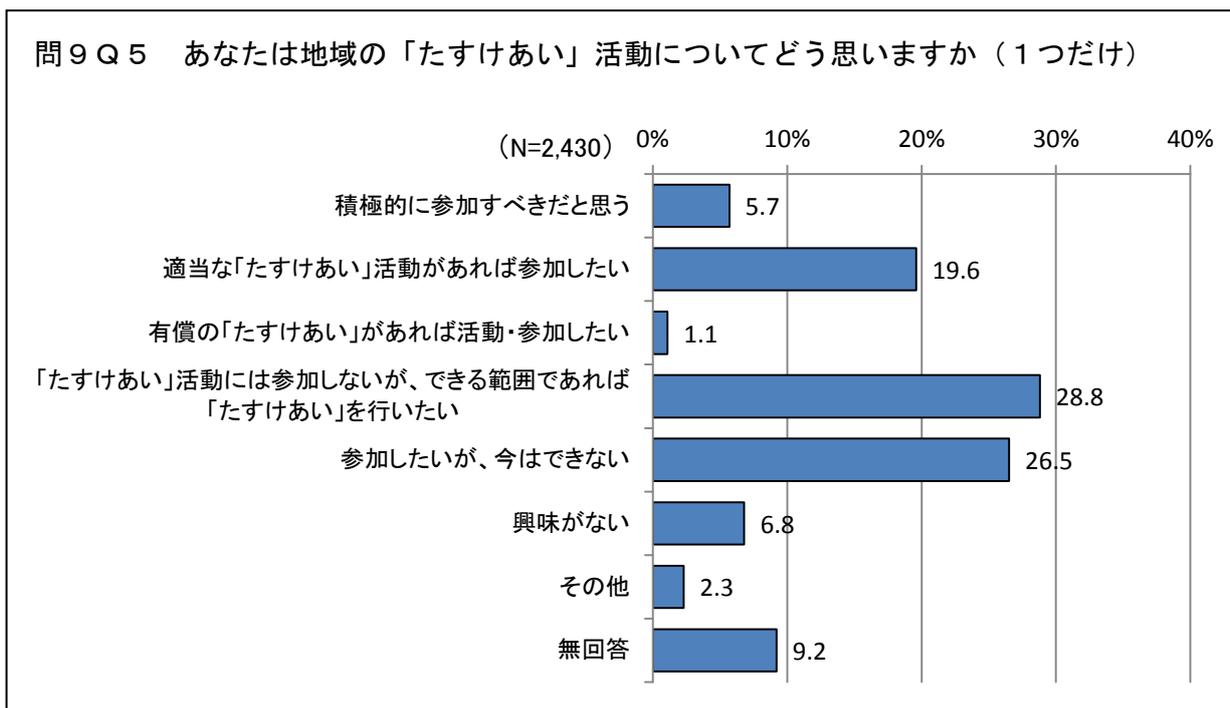
〔4〕 健康に過ごしていくための心配事

問9 Q4 健康に過ごしていくために、どのようなことが心配ですか（いくつでも）



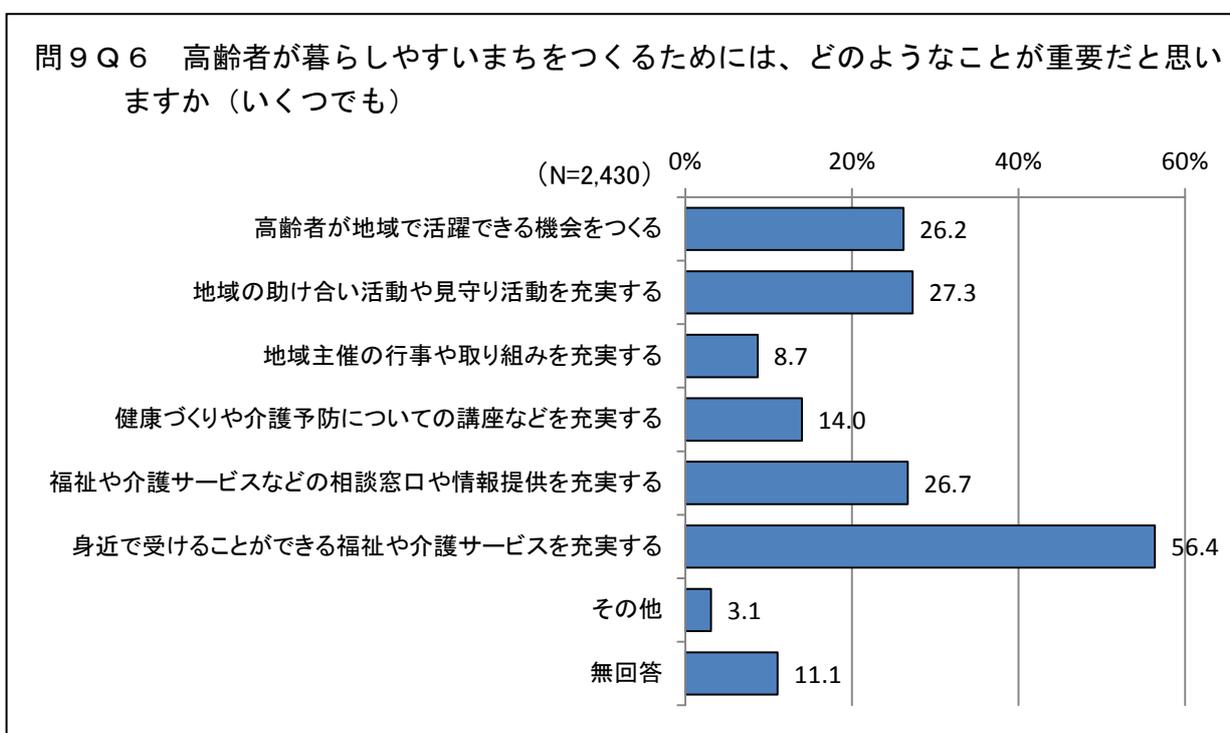
- 健康に過ごしていくための心配事は、「足腰の筋力の低下」（76.9%）が最も高く、次いで、「認知症」（48.2%）、「歯や口の機能の低下」（24.7%）、となっています。

〔5〕地域の「たすけあい」活動についてどう思うか



- 地域の「たすけあい」活動についてどう思うかは、「「たすけあい」活動には参加しないが、できる範囲であれば「たすけあい」を行いたい」（28.8%）が最も高くなっています。

〔6〕高齢者が暮らしやすいまちづくりに重要なこと



- 高齢者が暮らしやすいまちづくりに重要だと思うことは、「身近で受けられることができる福祉や介護サービスを充実する」（56.4%）が最も高くなっています。